



おかげさまで、ことぶき大学富良野校は開校50周年を迎えることができました。心よりお喜び申し上げます。

三市町パークゴルフ大会 開催！！

7月も後半を迎えました。まもなく、学校では夏休みに入ります。我が家では、今「夏椿」が花盛り！！今年の蕾は100個以上ありそうです。先日、妻が“夏のお花見”と称して、近くの知人に声をかけていました。



この三連休、皆さんいかがお過ごしでしたか。私は、まずは実家の草刈りで汗を流しました。帰り道、ラベンダー祭りが中止だったわりには、観光客が多かったのには驚きました。

翌日からは、できるだけんびりと…涼しい午前は外での仕事、午後は記念誌やことぶき通信づくり等々…ジャズのバラードを聴きながら過ごしていました。

そんな時、また麓郷で交通死亡事故が発生しました。昨年と同じような場所、西麓郷と平沢との峠のカーブでの事故だったようです。その場所は本科4年生の大島さんの近くでもあり、平沢で仕事だったご主人の帰宅がかなりの遠回りだったそうです。

新型コロナウイルス感染者も急増しています。「第7波！」と言えども、海外からの観光客の受け入れを再開したようです。特別な規制はありませんので、皆さん、あらためて感染予防対策を徹底してください。

さて、今回は、三市町交流パークゴルフ大会中富良野大会でした。天気も最高でした。



パークゴルフ交流会といえども、大会ですので結果も
気になります。10位以内が入賞です。

≒男性の部≒

第5位 武田 敏彰さん

第6位 河合 満さん

第7位 平澤 稔さん

≒女性の部≒

第4位 西田マサ子さん

第5位 西濱 千汐さん

第6位 萱原栄都子さん

第7位 原 あけみさん

第8位 小林 静子さん

優勝は逃したものの、大変いい成績でした。さすが、
上位入賞者は常連の実力者たちです。閉会式では時期開催
地富良野ことぶき大学富良野校自治会長の原さんからのメ
ッセージもあり

ました。中富良野町銀嶺大学の
皆さんには大変お世話になりま
した。応援の甲斐もあり、楽しい
交流大会となりました。



本日7月20日（水）の日程

朝の集いの中で、次回の山部校との交流パ
ークゴルフ大会並びに自然散策の参加集約を
行います。

パークゴルフの道具も用意できますので、
気軽に参加してみませんか。初心者大歓迎で
す！！！！

9：00 当番(大学院1年生)
除菌・教室の換気、クラブ準備

9：15 朝の集い…校歌・体操・諸連絡

9：50 クラブ準備・**クラブ学習⑤**

12：00 昼食・休憩

13：00 **「コーラス⑤」「踊り⑤」**

14：00 自主活動（スコープ三味線、他）

自治会役員会の実施

開校50周年の記念式典に係わる打ち
合わせを持ちますが、上用が午後1時
から山部校に行きますので不在になり
ます。

内容は、記念式典当日の流れ等の確
認と役割分担について等相談したいと
思っています。

また、記念誌作成準備委員会では、
これから印刷と製本のために準備に入
ります。

どうぞよろしく申し上げます。

（事務局では、佐竹が対応する予定で
す）



次回7月29日（水曜日）

二校パークゴルフ交流会 & 太陽の里自然散策

8:40 文化会館集合
50 文化会館発
9:20 山部太陽の里パークゴルフ場 着
9:30 開会式
45 **競技開始 散策スタート**
11:30 競技終了 散策終了
閉会式
12:00 バス乗車
12:30 文化会館着

雨天の場合は、生涯学習センター多目的アリーナでインドアパークゴルフを実施します。

また、競技に参加しない方は、太陽の里の自然散策です。雨天時は博物館等施設見学を予定しています。

用具は、各自持参してください。

なお、初心者の方の参加も大歓迎です。道具も用意可能ですので、是非、参加者集約一覧に記入ください。

熱中症対策と水分補給を必ず行ってください。

開校 50 周年式典に向けて

開校 50 周年式典に向けて、準備が進んでいます。

記念誌作成に係る準備委員会では、記念誌への寄稿をことぶき大学の OG・OB の方をお願いしたり、名簿の確認など広範囲にわたり作業をしました。これからは印刷や製本の準備です。



スコップ三味線同好会では、練習も熱が入ってきました。

先日は、大ホールにて実践練習でした。「コーラス」や「踊り」についても

可能な限り大ホールでの練習を考えています。また、陶芸クラブでは、50 周年記念の湯呑が焼き上がりました！！

おもてなしのお茶会、切絵・絵手紙・書道クラブの作品展の準備とサプライズも検討しています。

50 周年行事に向けて、熱い、暑い、記念誌も厚い夏を迎えています！！



寄稿文

「研究旅行 ウポポイを見学して」

大学院2年 伊藤公雅

久しぶりの研修旅行は3年振り、生憎の空模様であったが、現地では傘を必要としない天候となり、暑くもなく寒くもなく、過ごし易い状態で見学等を楽しむことができました。

研修に際して、先生から何を主眼において見学をするのか？と問いかけがあった。

私のテーマ②のアイヌ人が何故幕府から迫害を受けたのか？の題目に着眼し、その資料を確認してきました。

当時、松前藩が交易を深める内に、自分達に都合の良い事ばかりを繰り返す、それに半期を翻したアイヌ若者達が立ち上がり幕府の船などを焼き払う一揆を起こした。

この出来事は、1457年コシャマインの戦いでは、マキリ（小刀）の出来具合をめぐり言い争いと成り、和人の鍛冶屋がアイヌの青年を刺殺、和人の家を攻め込み松前藩にコシャマインが殺害され終結。

1731年のシャクシャインの戦いでは、女性を色丹島に送り、青年は強制労働をさせられ、若い男女を分離、アイヌの人口を抑制した。

1803年クナシリ・メシナの戦いは、悪徳商人の台頭で鮭100本と米10kgの交換（以前は鮭100本と米30kg）にしたり、和人の労働者をアイヌの領地へ送りこみ、鮭の乱獲等を行った。

幕府はそれらを取めるために、その都度アイヌの指導者に指示をし、鎮圧させた。そして、幕府はその指導者達を次々と殺害し、物言わぬアイヌに仕立て上げてきた。

1871年以来、政府の方針により日本語を強要し、アイヌ語の使用を禁止してきたのである。

これらの事により、アイヌの人達は、冷たい仕打ちを受け続け、民族の縮小や辛い生活を強いられてきた。

アイヌの人達が使っていた道具類は、その時代において、和人を凌ぐ物が有り、履物は草鞋ではなく、鮭や鹿の皮を利用した素晴らしい物があった。

私は過去に反省すべき事が有りました。小学5年生の頃、ふとした事から石投げを始めた。4、50mの距離から、お互い何処まで届くか投げ合う合図をしたが、アイヌの子が中々投げ返してこなかった。

そのまま分かれたが、私が眠ったその夜遅く、その子の父親が来て、その日の出来事を談判に来たと母が言った。

私は決していじめるつもりで石を投げたつもりは無かったが、悪意に取られてしまった。

当時、何も考えずに居た自分が、恥ずかしく感じられた。